

令和1年度（2020年） 事業報告書

令和2年5月13日

NPO法人彩の国環境活動推進会

代表者氏名：理事長 須田 昭

電話番号：04-2945-2859

I. 事業計画に対する成果と今後の動向について

《総括》

本年度の活動方針は前年度に引き続き、①EA21-2017の普及活動、②会員の力量向上 の2点に絞り、これに関連する事業を展開することを掲げた。

フォローアップセミナー、内部監査員研修、IP研修など、EA21ガイドライン2017年版に対応したものを展開した。力量アップ研修は3回実施。世界の新潮流SDGsとEA21の関係や、優良事象所見学による研修及び友好団体KKFとの勉強会などである。いずれも成果を上げたと判断する。

一方、EA21-2017 ガイドライン発行をきっかけとしたものかとは定かではないが、認証の取り下げ件数の増加が顕著になってきたのは気がかりである。これに加えて1月以降、中国に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、戦後初めて緊急事態宣言が発令され、経済活動の停滞している。これらが中小事業者に与える影響が大きいと思われ、我々の事業活動も考え直さなくてはならない。

1. EA21普及活動（定款第5条（1）関連）

①自治体イニシアティブ及び関係企業グリーン化プログラム支援事業

昨年度に引き続き、川越市（川島町、日高市、富士見市、坂戸市との共同事業）が実施。地域事務局さいたま支援の下、当会も側面から協力した。

結果、研修会参加事業者は6社となり、IP成立となった。10月～2月に5回にわたる構築研修会には、当会会員が講師として参加。最終的には4社が認証登録に向けて活動中である。

②EA21構築事業者の新規発掘活動

行政や経済団体の動きは、SDGsの展開は顕著であり、EMSはその存在感が低下しているような様相を呈しており、残念ながら新規事業者の発掘はできなかった。

2. EMS教育活動事業（定款第5条（2）関連）

2.1 事業所見学会開催（優良事業所研究会）

10月10日、優良事業者の工場見学及びEA21の取り組み方について説明会を開催。参加事業者、当会会員、三者の交流会を行った。今年度は川越市にある株式会社 長谷川製作所様にご協力をお願いした。事業者は11社20名、会員7名の参加を得、好評であった。

2.2 内部監査員講習会開催

10月11日 内部監査員および環境キーマン研修を開催。11名参加。参加人数は昨年度の31名に比べ大幅減となった。概ね内部監査員への教育が行き渡ったためと思われる。

2. 3 環境経営指導の力量アップ

(1) 総会終了後及び定例会終了後に研修

①SDGsとEA21との関係性について、会員の樋口理事が講師を務める。

②当会発行のEA21-2017年版冊子の使い方についての勉強。

(2) KKF（神奈川県のアサヒグループ）との研修会開催

さいたま市及び横浜にて実施。当会会員から5名出席。テーマはEA21-2017年版による事業者への助言、ISO9000との統合の考え方について研究。

3. 広報活動事業（定款第5条（3）関連）

3. 1 フォローアップ研修開催への支援

11月25日、川越東上パールビルにて開催。今回は、NPO法人環境ネットワーク埼玉と、地域事務局さいたま及び埼玉県中小企業団体中央会の合同開催。当法人も協力。40名強の出席者（EA21登録事業者30名）で盛況であった。

行政、ぐんま資源エネルギー循環推進協議会による講演、事例発表など。また登録10年表彰も実施。終了後は、同会場にて交流懇親会開催。

3. 2 当会の季刊誌発行サービス

3回発行。「役に立つEA21の取組み」の連載の他、EA21ガイドライン2017年版の概要、取組み事例等の情報提供を行った。

3. 3 ホームページによる情報公開

ホームページ上で当会主催の内部監査研修、地域事務局主催のフォローアップ研修開催案内、

4. 事業化研究事業（定款第5条（4）関連）

他のマネジメントシステム（QMS、労働安全、運輸マネジメント等）の考え方を、EA21の仕組みに統合させられるか、研究を開始した。

Ⅱ. 事業の実施に関する事項（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出(千円)
1. EA21普及活動						
定款第5条(1) 企業、団体等への環境経営システム構築・運用・維持に関する支援、協力	①自治体イニシアティブ及び関係企業グリーン化プログラム支援事業	令和1年9月～ 令和2年3月	川越市	6名	中小事業者の経営者、実務責任者等 8名	0
	②新規発掘活動	令和1年9月～ 令和2年3月	県内全域	5名	事業者、団体、市民等	0
2. EMS教育活動事業						
定款第5条(2) 環境問題に関する講習会、研修会の企画、実施、講師派遣などによる教育活動	2.1 優良事業所研究会	令和1年10月	(株)長谷川製作所	7名	EMSに関心のある事業者、団体及び当会会員	17
	2.2 EA21 内部監査員・新人・キーマン講習会開催	令和1年10月	さいたま市	4名	EA21認証取得事業者 11名	36
	2.3 環境経営指導の力量アップ	令和1年5月～ 令和2年1月	さいたま市	4名	EA21認証取得事業者及び環境経営に関心のある会員等	16
3. 広報活動事業						
定款第5条(3) 環境関連情報を収集し、会誌・IT活用による情報提供	3.1 フォローアップ研修開催	令和1年11月	さいたま市	5名	EMS構築済及び予定の中小事業者、団体40名	0
	3.2 EA21ガイドライン2017年版対応マニュアル改訂版発行事業	令和1年9月～ 令和2年1月	さいたま市	3名	EA21認証取得事業者及び環境経営に関心のある会員等	75
	3.3 当会の季刊誌発行サービス	年4回	県内全域	6名	EA21構築済及び予定の中小事業者、団体 200名	0
	3.4 ホームページによる情報公開	適宜	当法人事務所	4名	EMSに関心のある者	0
4. 事業化研究事業						
定款第5条(4) 環境経営と事業活性化及び環境経営と新規ビジネス創出との融合のための活動	EMS統合化研究会立上げ	令和1年12月～ 令和2年2月	さいたま市	10名	EA21認証取得事業者及び環境経営に関心のある会員等	0
計						144

2. その他の事業

なし

以上

令和1年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

(単位:円)

科 目		金 額		予算	実一予
(資金収支の部)					
I 経常収益の部					
1	受取会費、入会金等				
	受取入会金	0			
	*1 正会員受取会費	85,000		85,000	0
	賛助会員受取会費	0	85,000	0	0
2	事業収益				
	EMS普及啓発事業	25,000		0	25,000
	EMS教育活動事業	43,000		140,000	-97,000
	広報活動事業	50,360		75,000	-24,640
	事業化研究事業	0	118,360	215,000	-96,640
3	受取補助金等		0	0	
4	受取寄付金		0	0	
7	雑収入		146	0	
経常収益合計(A)		0	0	203,506	300,000

II 経常費用の部					
1	事業費				
(1)	人件費				
	給料手当			0	0
(2)	その他経費				
	業務委託費	0			
	諸謝金	38,585			
	印刷製本費	58,080			
	会議費	4,509			
	旅費交通費	7,580			
	通信運搬費	1,216			
	消耗品費	29,153			
	雑費	5,400			
	その他経費計	144,523			
	事業費計		144,523	265,000	-120,477
2	管理費				
(1)	人件費				
	給料手当				
(2)	その他経費				
	会議費	11,980	定例会議場所等	5,000	6,980
	旅費交通費	0		5,000	-5,000
	通信運搬費	11,580	HP	20,000	-8,420
	消耗品費	324		0	324
	印刷製本費	0		5,000	-5,000
	宣伝広告費	0		0	0
	賃借料	0		0	0
	会費	0		0	0
	教育研修費	0		0	0
	諸謝金	0		0	0
	支払手数料	0		0	0
	雑費	0		0	0
	管理費計		23,884	35,000	-11,116
経常費用合計(B)				168,407	300,000

当期正味財産増減額(C) = (A) - (B)				35,099	
前期繰越正味財産額(D)				839,000	
次期繰越正味財産額(E) = (C) + (D)				874,099	

令和1年度 特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表

令和2年(2020年)3月31日現在

単位:円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	874,099		
流動資産合計		874,099	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			874,099
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計	0		
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		839,000	
当期正味財産増加額		35,099	
正味財産合計			874,099
負債及び正味財産合計			874,099

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO会計基準(2010年7月20日 NPO会計基準協会)に準拠して、財務諸表を作成しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は、以下のとおりです。

(単位:円)

科目	EMS 普及啓発 事業	EMS 教育活動 事業	広報 活動事業	事業化 研究事業	事業部門計
I 経常収益					
1. 受取助成金等	0	0	0	0	0
2. 事業収益	25,000	43,000	50,360	0	118,360
経常収益計	25,000	43,000	50,360	0	118,360
II 経常費用					
1. 人件費	0	0	0	0	0
2. その他経費					
会議費	0	4,509	0	0	4,509
印刷製本費	0	8,130	49,950	0	58,080
通信運搬費	0	140	1,076	0	1,216
旅費交通費	0	7,580	0	0	7,580
消耗品費	0	5,138	24,015	0	29,153
謝金	0	38,585	0	0	38,585
宣伝広告費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0
雑費	0	5,400	0	0	5,400
その他経費計	0	69,482	75,041	0	144,523
経常費用計	0	69,482	75,041	0	144,523
当期経常増減額	25,000	-26,482	-24,681	0	-26,163

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等は、ありません。

当法人の正味財産は、874,099円ですが、そのうち用途が指定されているものはありません。

令和1年度 財産目録			
令和2年3月31日現在			
(単位:円)			
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債合計	0
現金手許預かり高	219,663		
普通預金	654,436	固定負債合計	0
(武蔵野銀行 東所沢支店)			
流動資産合計	874,099	負債合計	0
固定資産合計	0		
資産合計	874,099	正味財産	874,099